

# 世界が 懸念していること

2023年11月



GAME CHANGERS



# 世界が懸念していること

イプソスが毎月実施している「世界が懸念していること調査（What Worries the World）」では、世界29カ国で現在最も重要な社会問題や政治問題は何かと考えているのかを調査し、最新のスコアとその背景を10年分のデータをもとに探ります。

このグローバルサマリーレポートでは、世界中で最も懸念されていることを、自国が正しい方向/間違った方向のどちらに進んでいるかという人々の意見と共にご紹介しています。

各国および各懸念事項の調査結果の詳細は、[www.ipsos.com](http://www.ipsos.com)でもご覧いただけます。

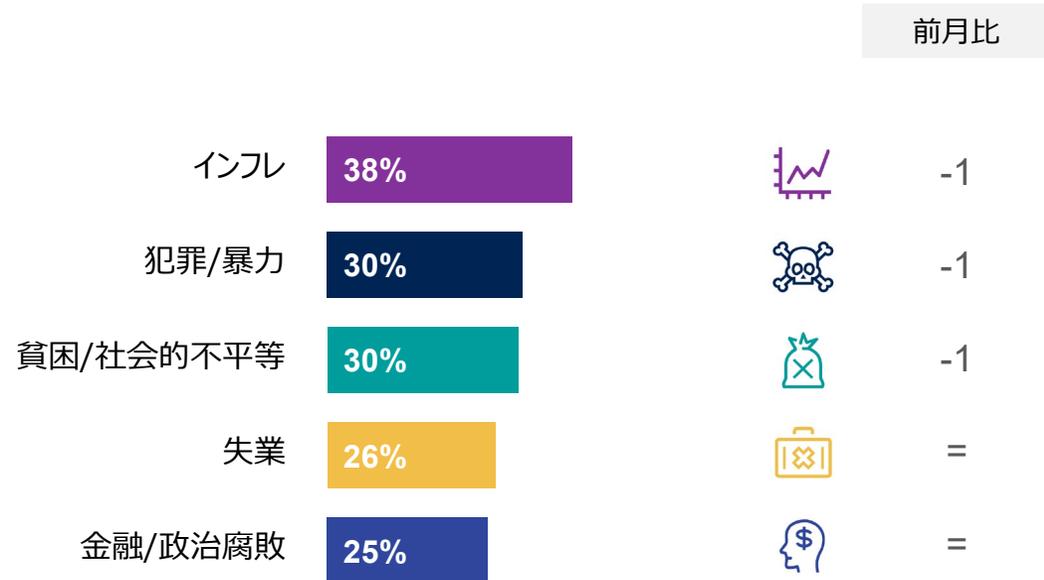
詳しくは [Teodros.Gebrekal@Ipsos.com](mailto:Teodros.Gebrekal@Ipsos.com)までご連絡下さい。



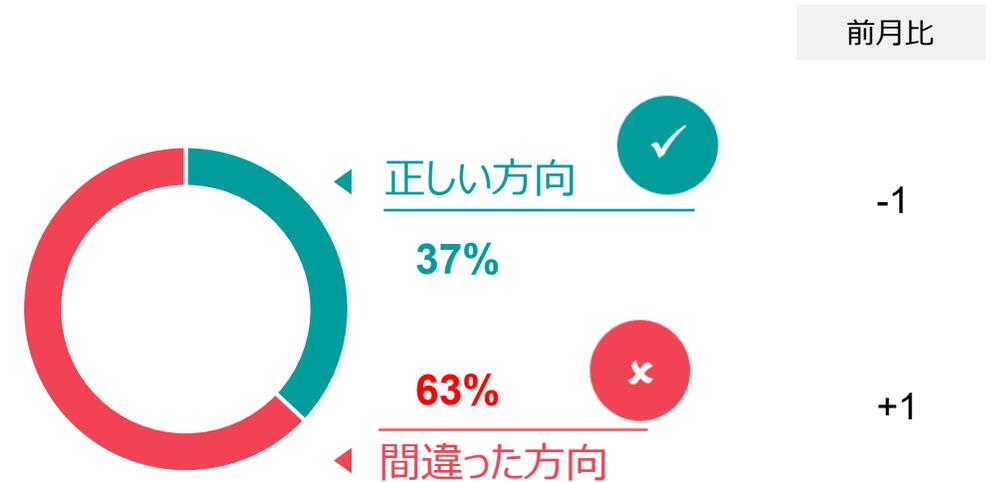
# 世界が懸念していること 2023年11月

インフレは20ヶ月連続で最大の懸念事項であり、29カ国の3分の2（37%）が自国の最大の懸念事項として挙げています。残る上位4つの懸念事項は先月から大きく変化しておらず、犯罪/暴力、貧困/社会的不平等はともに1ポイント減少しています。自国が正しい方向に向かっていると回答した割合も1ポイント減少しています。

**Q** 次のうち、自国で最も懸念されている3つは何ですか？



**Q** 自国は正しい方向に向かっていると思いますか、または間違った方向に進んでいると思いますか？



ベース：調査対象29カ国の16～74歳の代表サンプル、25,796人。2023年10月20日～2023年11月3日に調査。

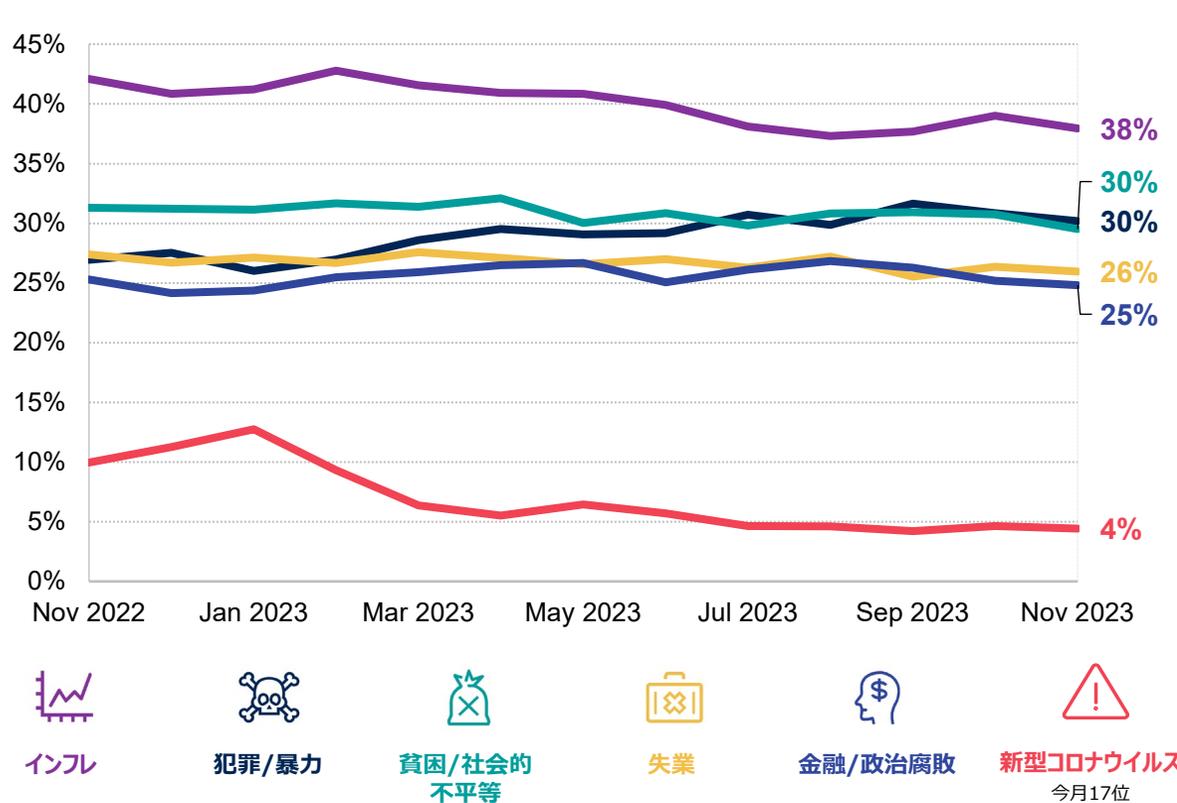
出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、グローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

3 © Ipsos | 世界が懸念していること

# 世界が懸念していること 12カ月のトレンド

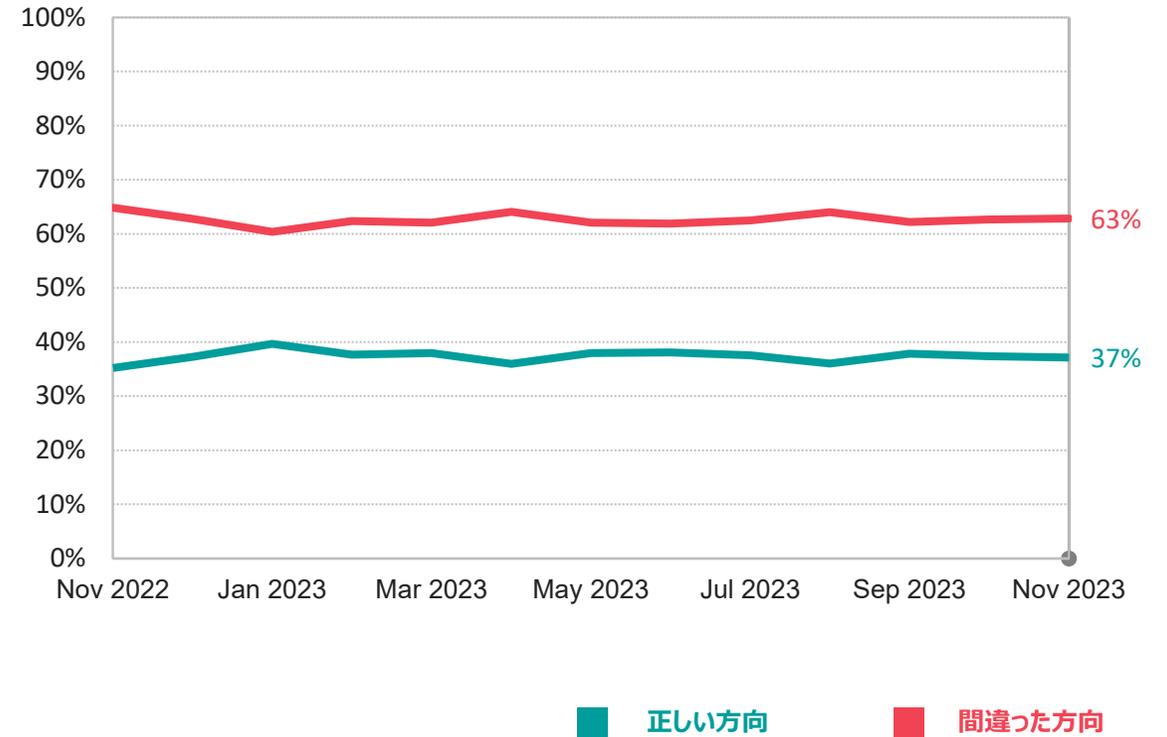
Q

次のうち、自国で最も懸念されている3つは何ですか？



Q

自国は正しい方向に向かっていると思いますか、または間違った方向に進んでいると思いますか？

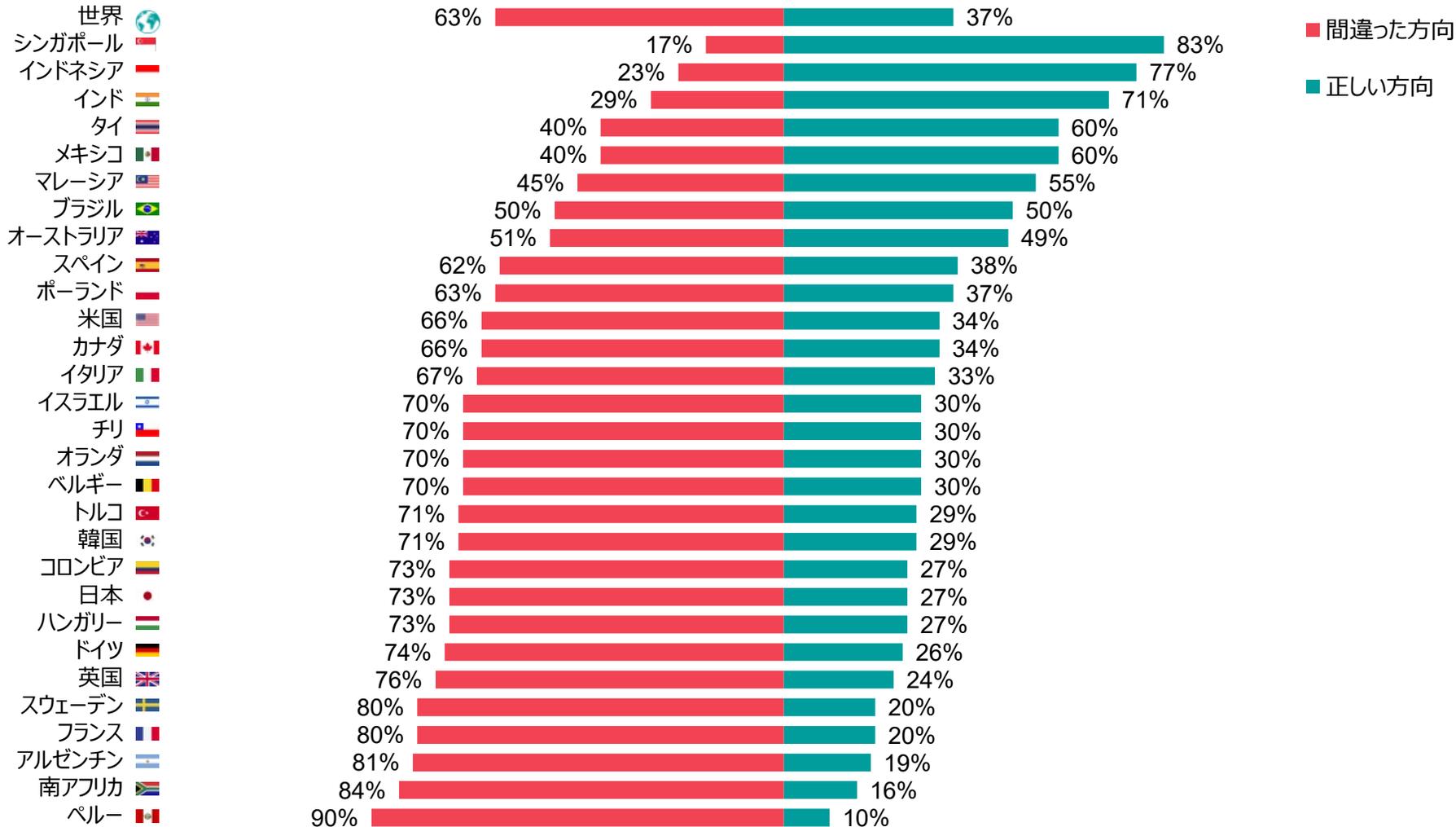


ベース：調査対象29カ国の16～74歳の成人約25,796人の代表サンプル。2022年11月～2023年11月実施。  
 出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、グローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

# 各国が進む方向性 全29カ国

# 正しい方向/間違った方向

Q 自国は正しい方向に向かっていていると思いますか、または間違った方向に進んでいると思いますか？（2023年11月）



自国が正しい方向に向かっていていると回答したのは3分の2強（37%）で、先月より1ポイント下がっています。世界的にみると、昨年同時期よりも人々はわずかに前向きになっていると言えます。2022年11月には、36%が自国の生活に満足していると回答していました。

ポーランドでは、10月15日の選挙後「正しい方向」スコアが改善しています。今月は10ポイント増の37%で、昨年11月より17ポイント高く、2020年3月以来の高得点となっています。

一方コロンビアは今月、「正しい方向」スコアが前月比最大の落ち込みを見せ、7ポイント減の27%となっています。これは2023年の年初より20ポイント低く、2022年6月以来の低さとなっています。

ベース：調査対象29カ国の16～74歳の成人25,796人の代表サンプル。2023年10月20日～2023年11月3日に調査。

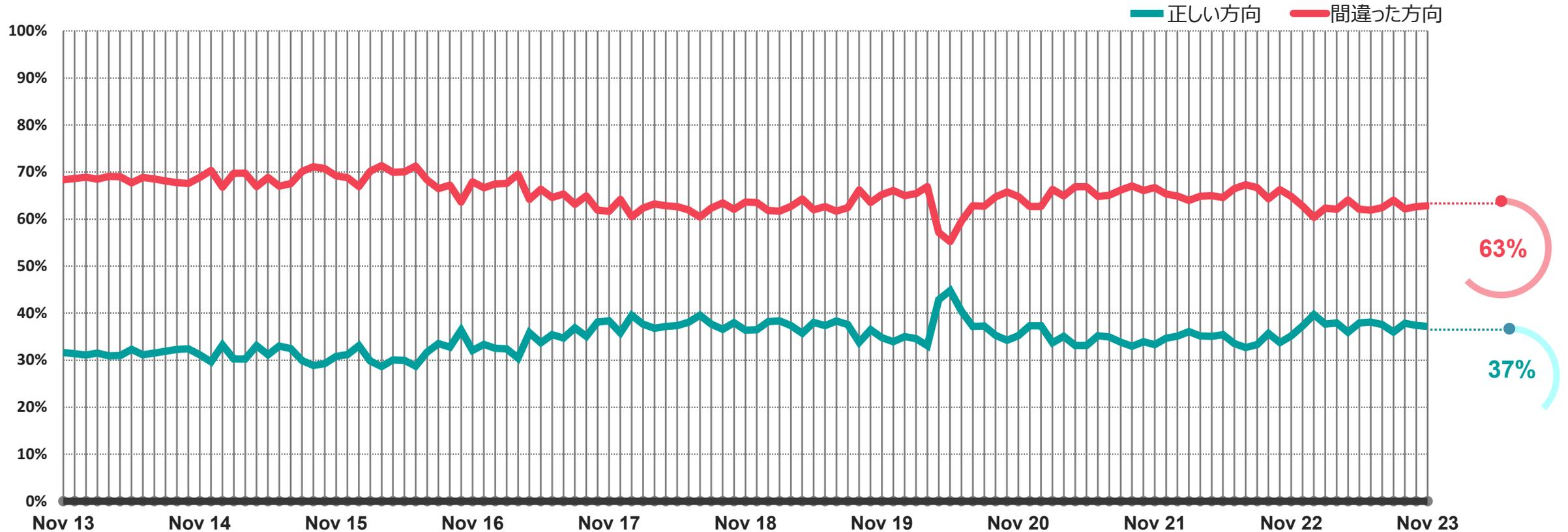
出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、グローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

Filter: Country: World | Current Wave: Nov 23



# 世界における、正しい方向/間違った方向

**Q** この国の状況は正しい方向に向かっていていると思いますか、それとも間違った方向に進んでいると思いますか？



ベース：調査対象29カ国の16～74歳の成人約25,796人の代表サンプル。2013～2023年に調査。

出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、グローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

7 © Ipsos | 世界が懸念していること

Filter: Country: World | Current Wave: Nov 23



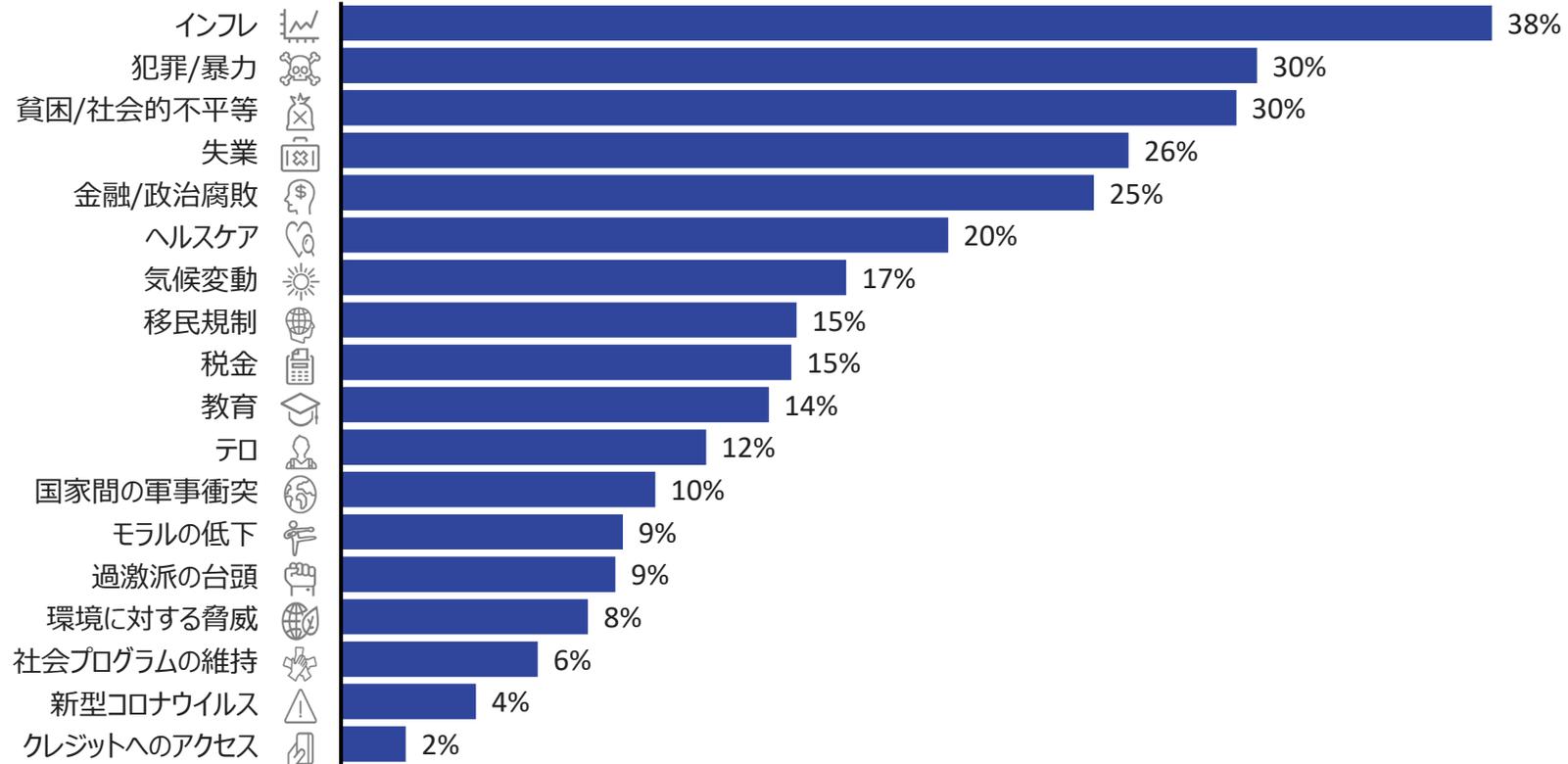
# 世界が懸念していること ランキング上位の懸念



# 世界の懸念事項：全18項目リスト

**Q** 次のトピックのうち、あなたの国で最も懸念されていると思うものを3つ選んでください。

2023年11月の回答 世界各国平均(%)



インフレは再び最大の懸念材料となり、20ヶ月連続でトップとなっています。今月は先月よりわずかに低く、5分の2（38%）をわずかに下回っています。

残る上位4つの懸念事項は、先月からほとんど変化は見られません。犯罪/暴力、貧困/社会的不平等はともに1ポイント減少し、失業と金融/政治腐敗は横ばいです。

ガザ紛争以降、テロに関する回答は5ポイント増の12%、国家間の軍事衝突は3ポイント増の10%となっています。

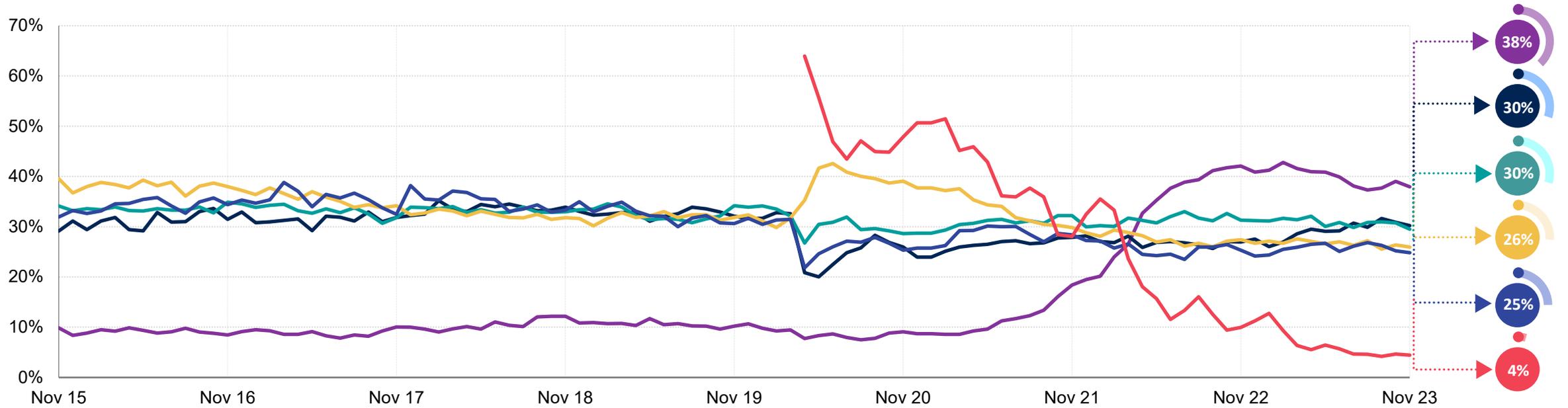
ベース：調査対象29カ国の16～74歳の成人25,796人の代表サンプル。2023年10月20日～2023年11月3日に調査。

出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、グローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

# 世界の懸念事項：長期トレンド

**Q** 次のトピックのうち、あなたの国で最も懸念されていると思うものを3つえらんでください。

世界各国平均



インフレ

犯罪/暴力

貧困/社会的不平等

失業

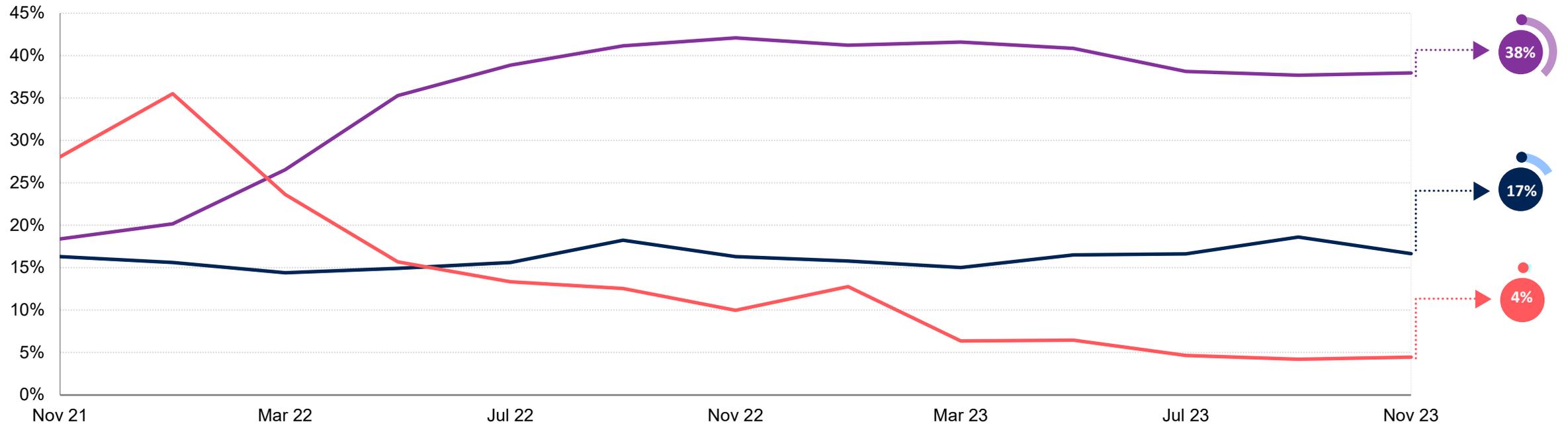
金融/政治腐敗

新型コロナウイルス

ベース：調査対象29カ国の16～74歳の成人約25,796人の代表サンプル。2015～2023年に調査。

出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、グローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

# 世界の懸念事項：長期的なトレンド (インフレ、気候変動、新型コロナウイルス)



インフレ

気候変動

新型コロナウイルス

ベース：調査対象29カ国の16～74歳の成人約25,796人の代表サンプル。2021年11月～2023年11月に調査。

出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、グローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

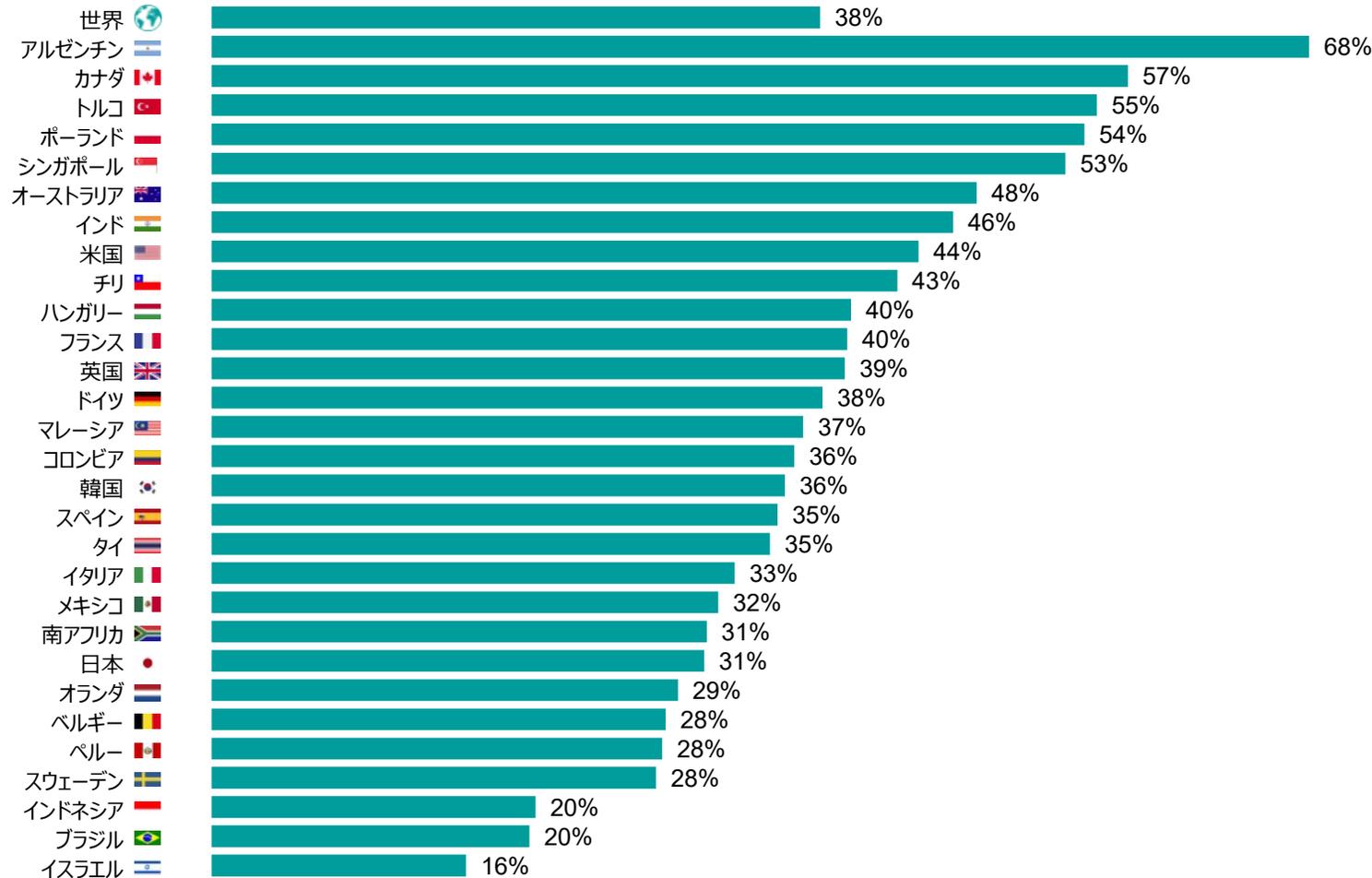
出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。新型コロナウイルスは2020年4月に調査に導入。

11 © Ipsos | 世界が懸念していること

Filter: Country: World | Current Wave: Nov 23



# 1 | インフレ



29カ国のほぼ10人に4人（38%）が、インフレを自国が直面する最大の懸念事項の一つに選んでいます。

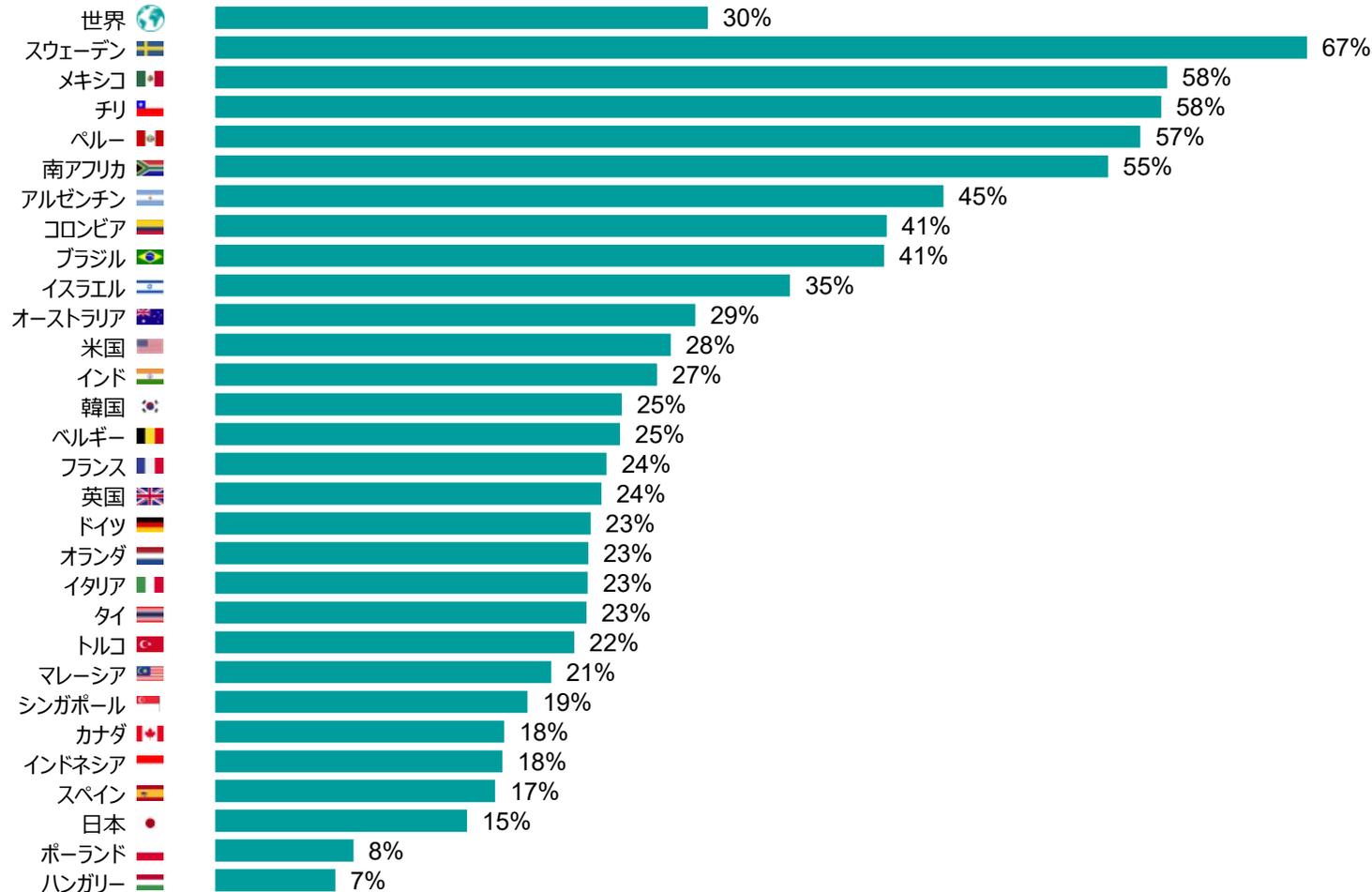
世界的なインフレへの懸念は2月に43%となりピークに達しました。それ以降、約10人に4人がインフレを課題として挙げており、高レベルで推移しています。

マレーシア（37%）は今月、どの国よりも急激に低下し、懸念が9ポイント減少し、2023年3月以来の低水準となっています。

一方、チリ（43%）、タイ（35%）、メキシコ（32%）の3カ国はいずれも5ポイント上昇しています。

今月は、アルゼンチン、オーストラリア、カナダ、フランス、インド、ポーランド、シンガポール、米国、そしてトルコの9カ国がインフレをトップの懸念事項に挙げています。

## 2 | 犯罪/暴力



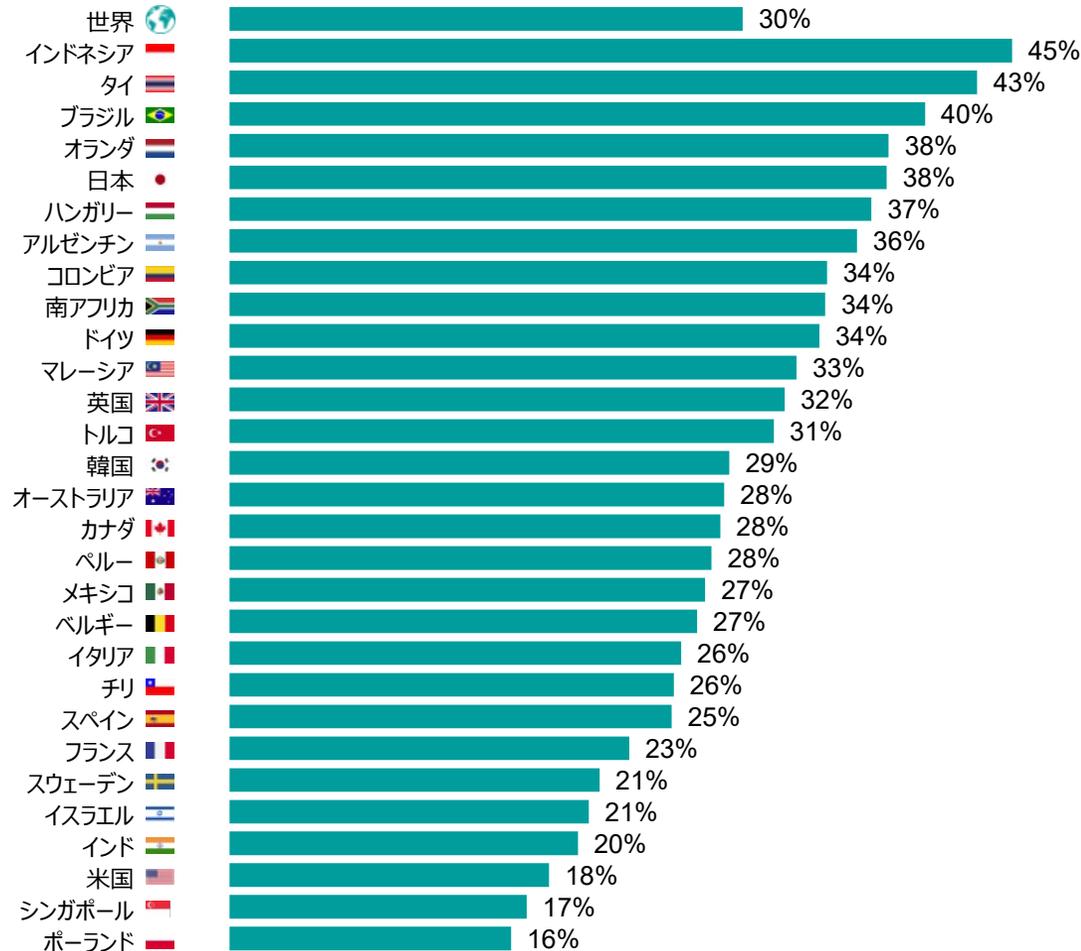
29カ国で10人に3人（30%）が自国の懸念事項として犯罪/暴力を挙げています。

スウェーデンは依然として10人に7人(67%)が犯罪/暴力について懸念しており、先月から1ポイント減少しましたが、9月に記録した急上昇の後、依然として記録的な高水準にあります。

先月、イスラエルは犯罪/暴力を最大の懸念事項としていましたが、今月11月には15%減少し、3分の1強（35%）となっています。これは、テロや国家間の軍事衝突に関する回答が大幅に増えたためです。

今月もスウェーデン、メキシコ、チリ、ペルー、ブラジルの5カ国が犯罪/暴力を最大の懸念事項としています。スウェーデンを除けば、主にラテンアメリカ諸国が名を連ねる結果となっています。

### 3 | 貧困/社会的不平等



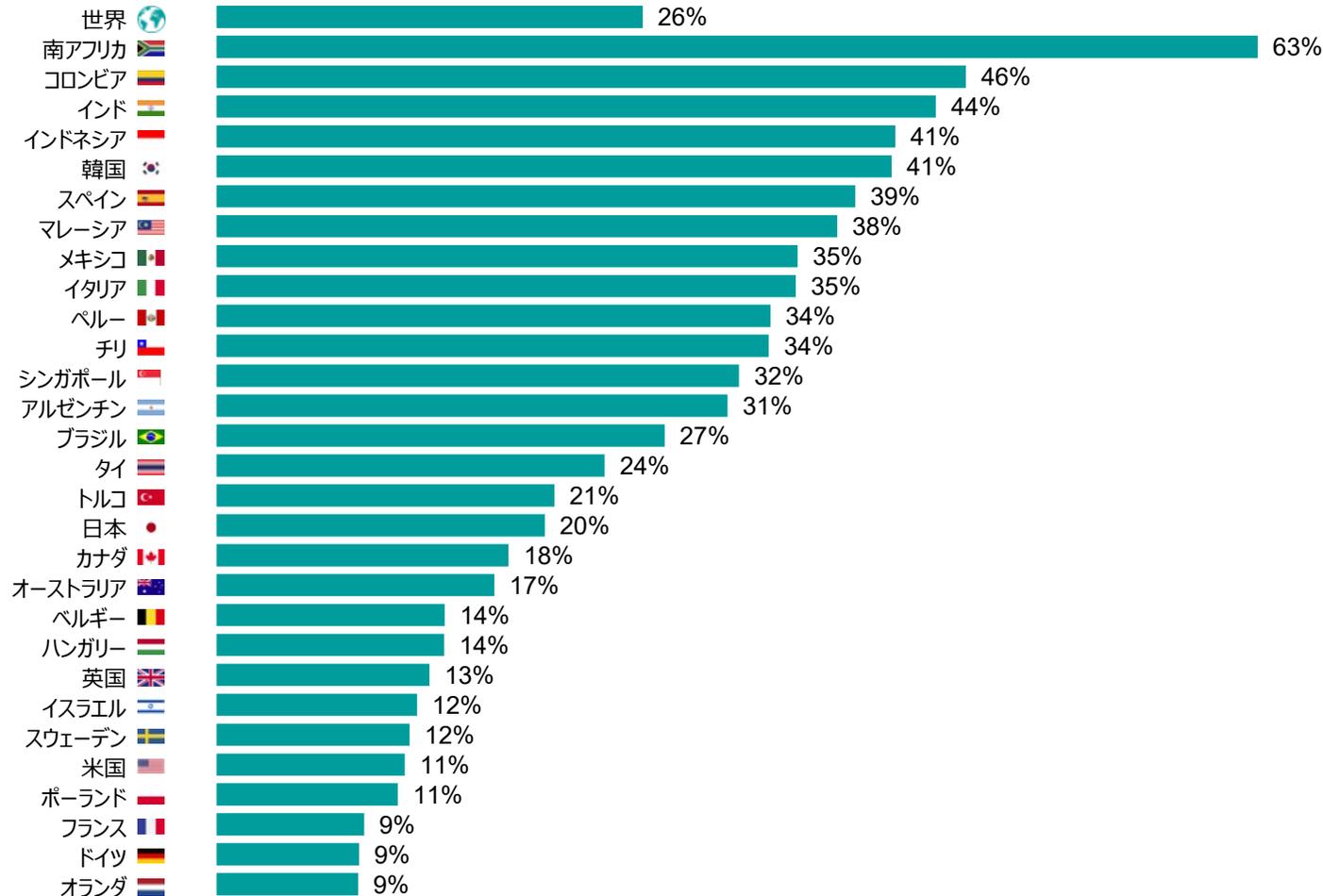
貧困/社会的不平等は、先月と変わらず3人に1人（30%）が懸念事項として挙げています。

インドネシアは4カ月連続で、貧困/社会的不平等を最も懸念しており、45%が懸念を示しています。また、金融/政治腐敗に次ぐ、同国の2番目に大きな懸念事項となっています。

タイでは今月、不平等がわずかに増加し、国の最大の懸念事項となっています。金融/政治腐敗がそれに続いています。全体で見るとタイは2位で、3分の2以上が懸念を示しています（43%）。

貧困/社会的不平等を自国の最大の懸念事項とする国は、タイ、オランダ（40%）、日本（38%）の3カ国となっています。

# 4 | 失業



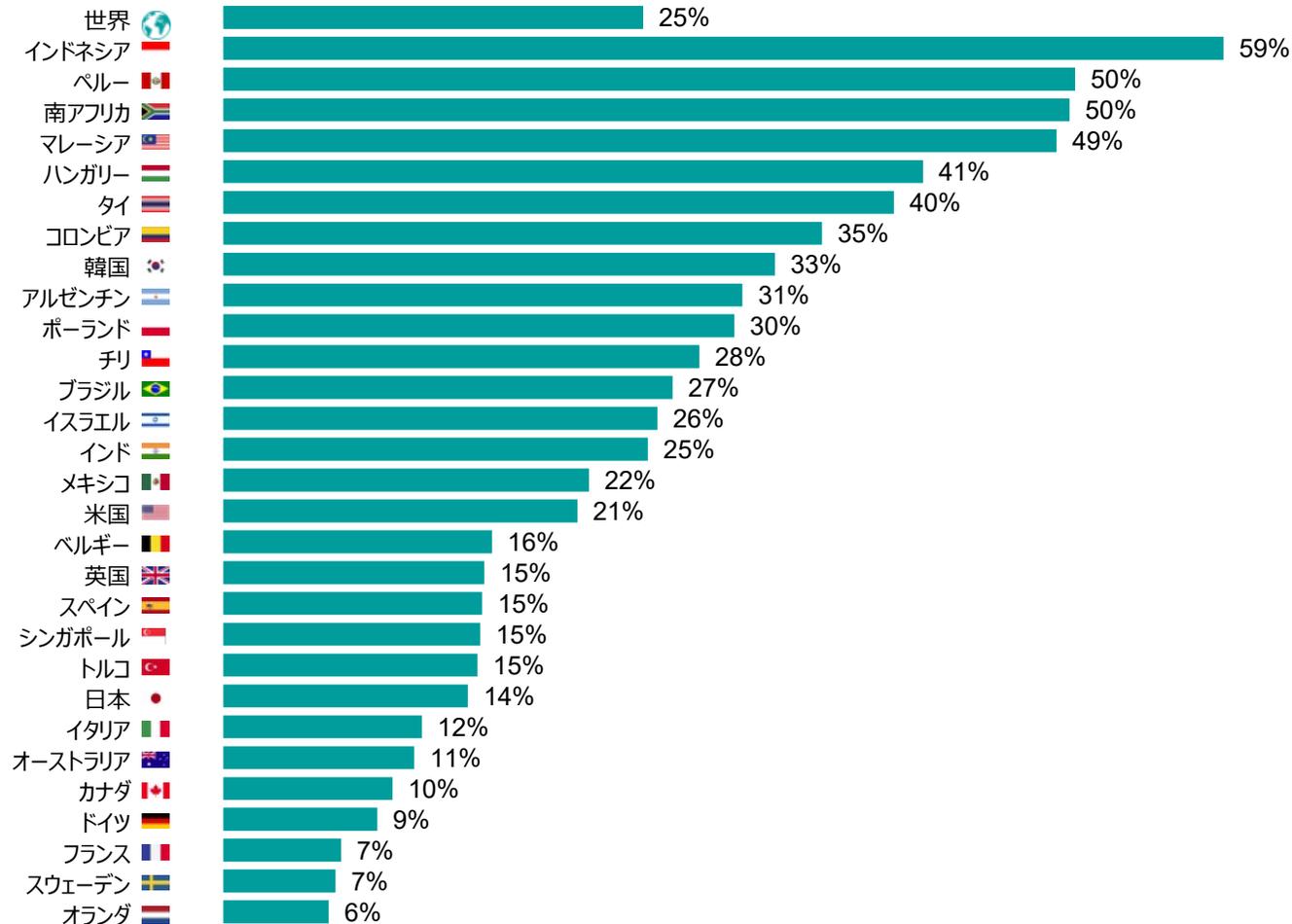
29カ国で4人に1人（26%）が、自国における最大の懸念事項の一つに失業を挙げています。この懸念レベルは先月と変わりません。

先月はシンガポール人の半数近くが失業に懸念を示してましたが、11月時点では17ポイント低下し、3分の1（32%）となっています。依然としてインフレに次いで、シンガポールで2番目に大きな懸念事項となっています。

今月はコロンビアが7ポイント増の半数弱（46%）を占め、2位となっています。

南アフリカは失業を最も懸念しており、63%が失業を懸念事項として選択しています。南アフリカ人は2021年4月以来、失業について最も懸念を抱いています。

# 5 | 金融/政治腐敗

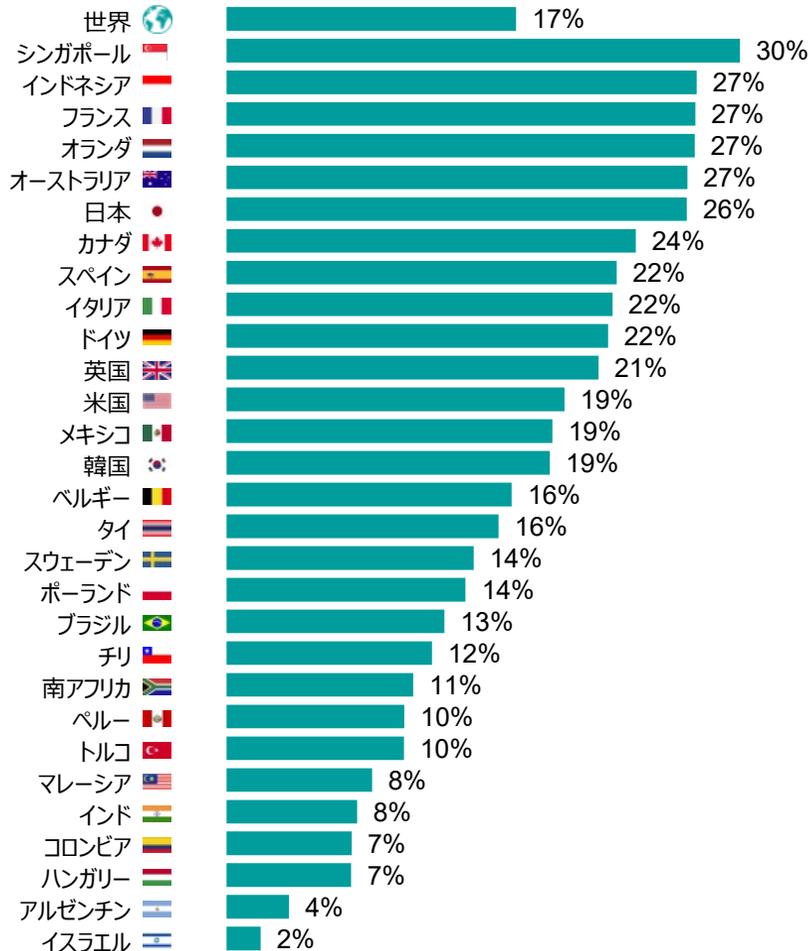


金融/政治腐敗は、「世界が懸念していること」調査で5番目に大きな懸念事項であり、29カ国で4人に1人（25%）が懸念事項として選択しています。

インドネシアがトップで、先月より6ポイント増加の5分の3（59%）が大きな懸念事項だと回答しています。2022年8月以来、この国の最大の懸念事項であり続けています。マレーシア（49%）もこの問題を最重要課題としていますが、回答は先月から2ポイント減少しています。

先月5位だったペルーは、今月半数（50%）が最大の懸念事項としてこれを挙げており、10月から5ポイント上昇しています。また、南アフリカ（50%）は2人に1人が懸念を示しており、今月は4ポイント増加しましたが、それでも失業、犯罪/暴力に次ぐ3番目の懸念事項です。

# 7 | 気候変動



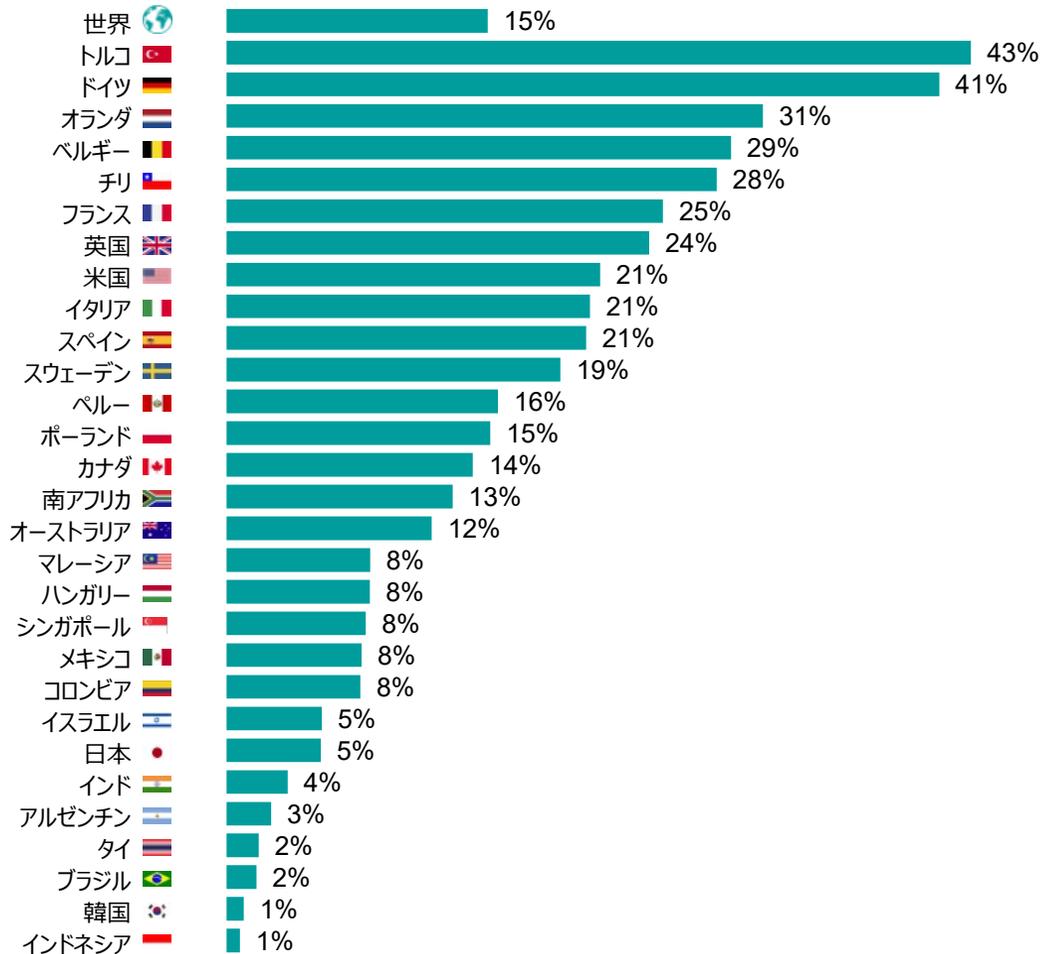
5人に1人弱（17%）が気候変動を自国の主要課題として選んでいます。「世界が懸念していること」調査では7位で、ヘルスケアと移民規制の間に位置しています。世界的な懸念の割合は3ヶ月連続で減少しています。

シンガポールは、先月より4ポイント低い30%が問題だと回答し、再び最も懸念している国となっています。

2023年9月、日本では気候変動に対する懸念が最も高く、ほぼ3分の1に達しました。それ以来、徐々に低下しており、今月は3ポイント低下しています。

とはいえ、昨年と同時期、日本の気候変動に対する懸念は今より8ポイント低かったです。

# 8 | 移民規制

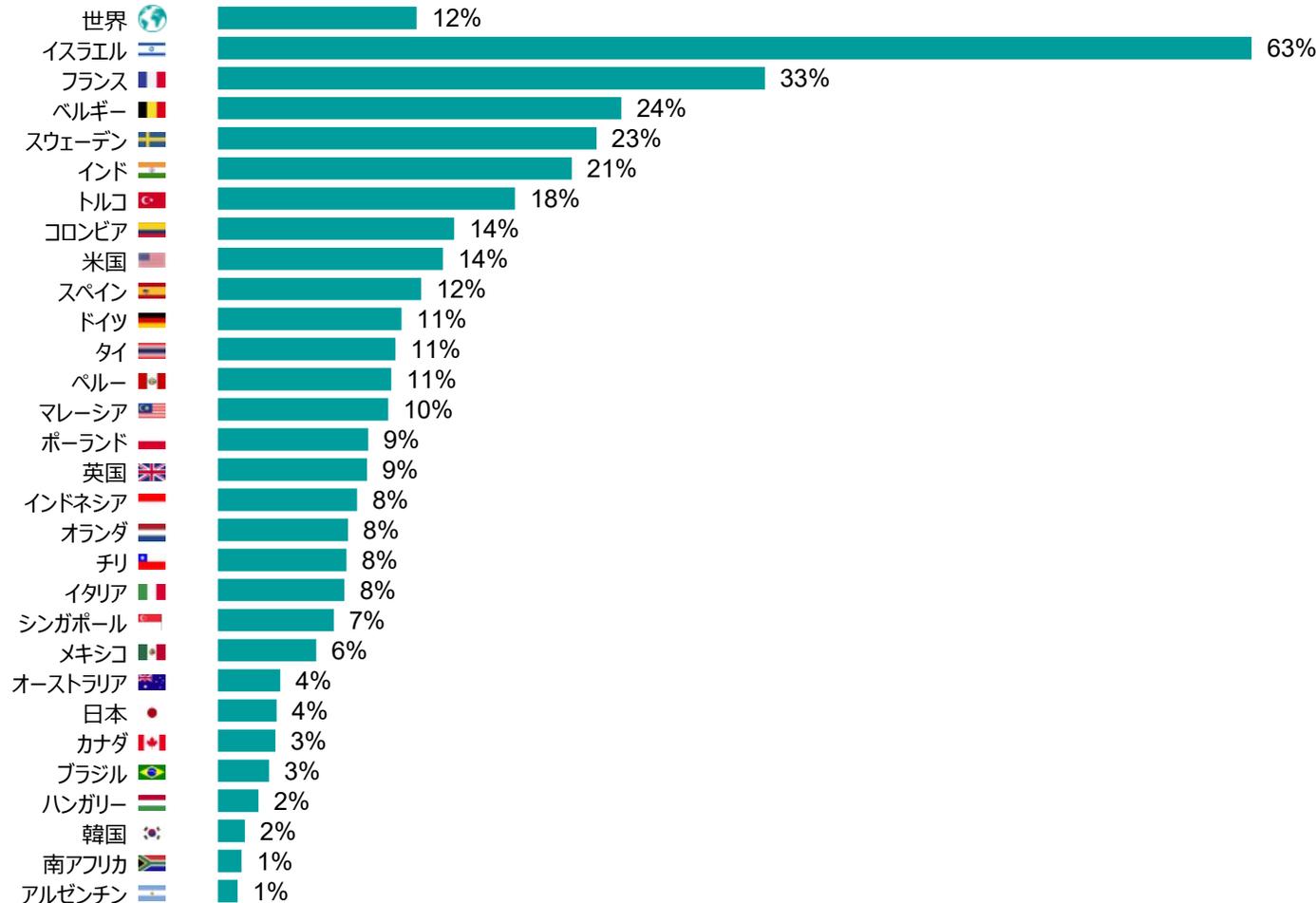


移民規制を懸念事項として挙げるのは、世界全体で、15%にとどまっています。しかし、他の懸念事項が変動したため、今月は8位にランクアップしています。

ヨーロッパでは他の地域よりも上位にランクされる傾向があります。ドイツは3ポイント低下したにもかかわらず、依然として移民規制を最大の懸念事項としており、5分の2(41%)が懸念を抱いています。ベルギーも現在、この問題を最大の課題としており、2ポイント上昇して29%となっています。トルコ(43%)は、この問題を2番目に懸念しており、10月から2ポイント増加しています。

英国は先月4位でしたが、今月は5ポイント低下し4分の1(24%)となり、順位を下げています。

# 11 | テロ



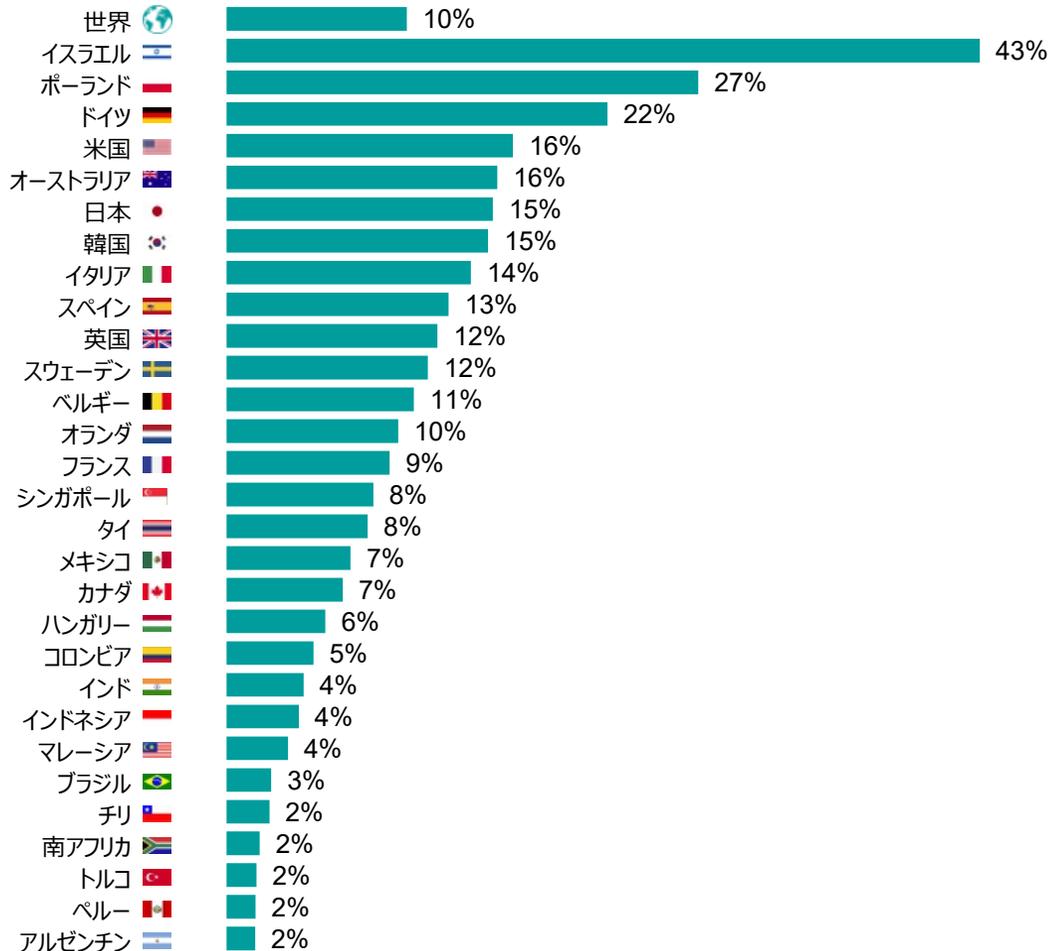
「世界が懸念していること」調査において、テロは18の懸念事項のうち11位にランクされています。この10月以降、回答は5ポイント上昇し12%となっています。

今回のガザ紛争の後、テロはイスラエルにとって最大の懸念事項となっています。24ポイントの急上昇後、イスラエル国民のほぼ3分の2（63%）が懸念を抱いています。これは2015年12月以来の国内最高値です。

しかし、前月比で最大の増加を示したのはフランス（現在33%）で、26ポイント増の2位です。ベルギーもテロを懸念しており、4分の1（24%）がテロを挙げています。

スウェーデンも10月の低下から再び上昇し、7ポイント上昇してほぼ4分の1（23%）となっています。

# 12 | 国家間の軍事衝突



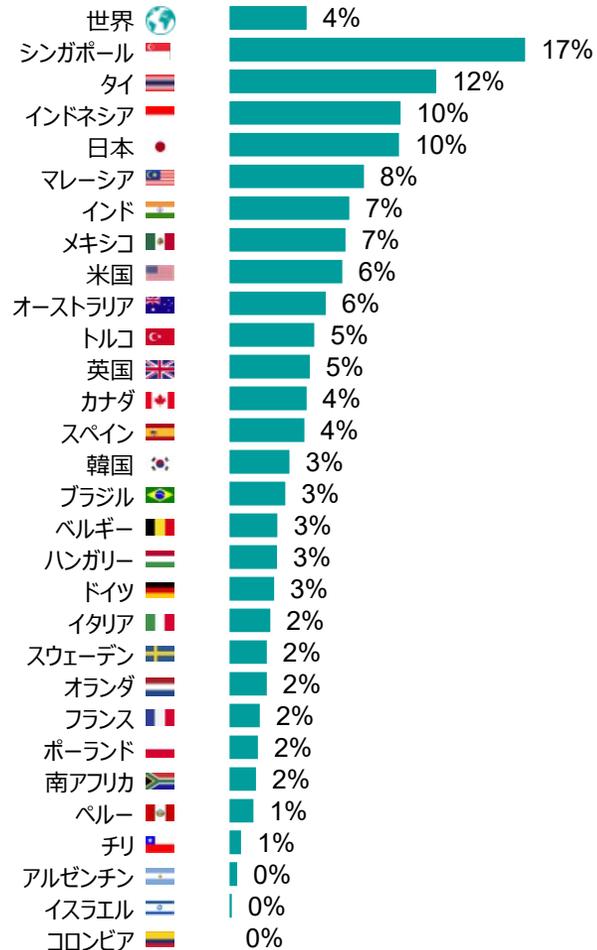
国家間の軍事衝突に関する回答は今月3ポイント増加しています。10月から4つ順位を上げ、現在12位につけています。これは2022年10月以来の高水準です。

テロへの懸念と同様に、軍事衝突への懸念もイスラエル人の間で27ポイント増と大きく高まっています（43%）。これはイスラエルで2番目に大きな懸念事項であり、2022年4月にこの項目の調査を開始して以来、最も高いレベルとなっています。

この新たな紛争は、紛争への不安を他国にも広げているようです。ウクライナ戦争が始まって以来、ポーランド（27%が主な懸念事項の一つに挙げている）は5ポイント上昇しこのリストの上位を維持しています。

米国（16%）の回答は7ポイント上昇し、2022年5月以来の高水準となっています。

# 17 | 新型コロナウイルス（COVID-19）



新型コロナウイルスは、「世界が懸念していること」調査で取り上げられた18の懸念事項のうち17位にランクされています。懸念事項として選択したのはわずか4%で、クレジットへのアクセス（2%）が唯一これを下回っています。

今月注目すべき変化があった唯一の国はシンガポール（17%）で、回答が11ポイント上昇しています。これは2023年5月以来の高水準であり、今年シンガポールで3番目に高い数字です。

インドネシアも10月より若干増加し、5ポイント増の10人に1人（10%）となっています。

一方、コロンビアは、新型コロナウイルスを懸念する回答者がゼロとなった最初の国となっています。

# 経済への注目

# 自国の経済状況

イプソスの「世界が懸念していること調査 (What Worries the World) 」と並び、毎月実施されている「世界消費者信頼感調査」は、29カ国の一般消費者を対象に、国と個人のレベルにおける経済と金融について調査を実施しています。

以下のセクションでは、このデータの一部を用いて、今月の「世界が懸念していること調査」レポートの背景を説明しています。これは、国民が自国の現在の経済情勢をどのように評価しているかを示すものです。

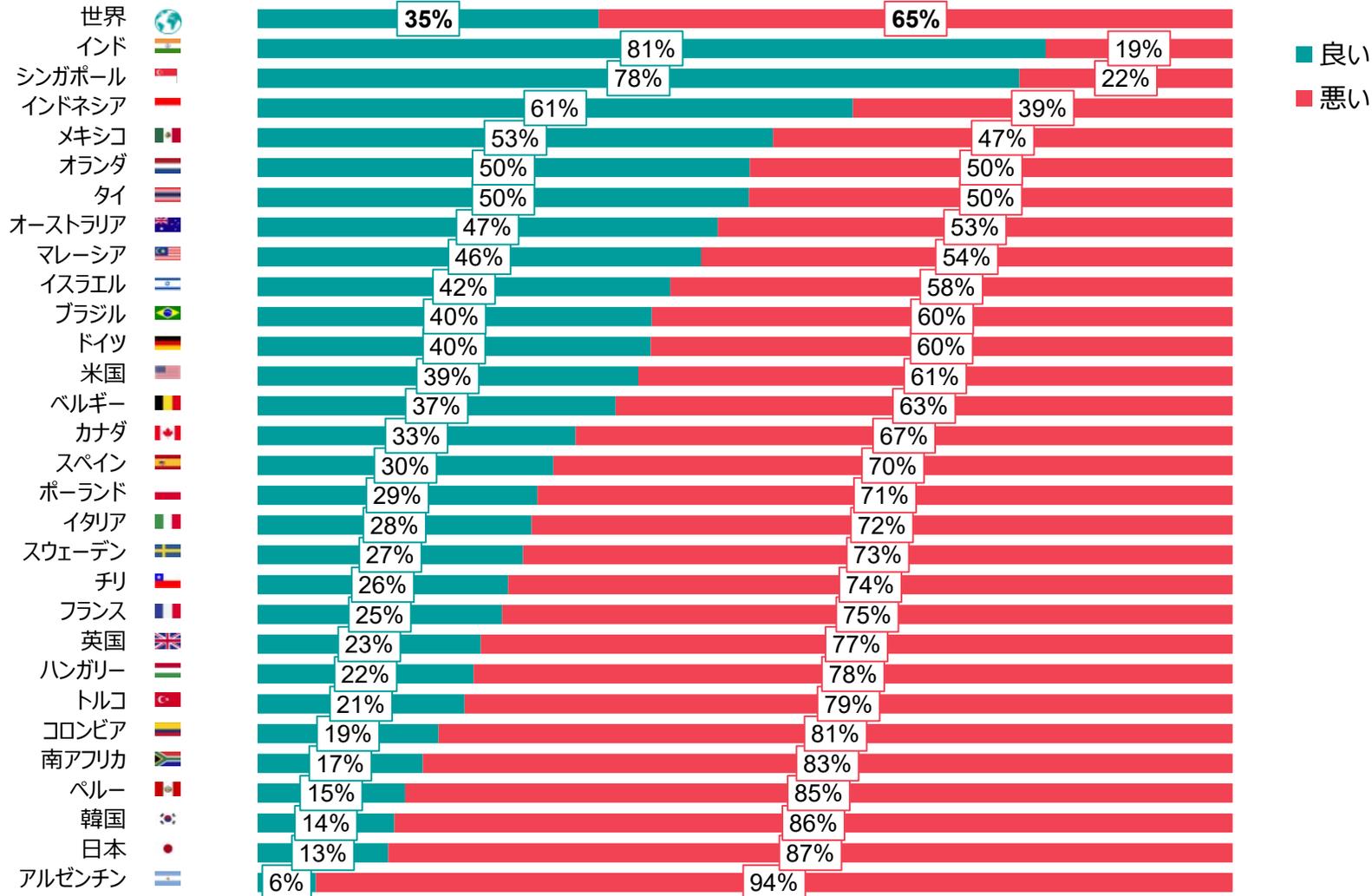
詳しくは [Teodros.Gebrekal@Ipsos.com](mailto:Teodros.Gebrekal@Ipsos.com) までお問い合わせください。



# 現在の経済状況

経済に関する認識の詳細については、[イプソスグローバル消費者信頼感調査](#)をご確認ください。

## Q 現在の自国の経済状況をどう評価しますか？



インドは今月もランキングのトップを維持しており、10人に8人以上が現在の経済状況を「良い」と回答しています。

経済に対する肯定的な見方が先月から最も上昇したのはイスラエル（+7）、次いでマレーシア（+6）です。メキシコのスコアは3ポイント上昇し、過去最高を記録しています（53%）。

一方、アルゼンチンは最下位をキープしています。アルゼンチンのスコアは、過去10年間の4分の1以上の期間（120ヶ月のうち32ヶ月）で10%を下回っています。

スペイン、ブラジル、コロンビアはそれぞれ前月比7ポイントの減少となっています。

スウェーデンのスコアは1ポイント低下し、今年5度目の過去最低を記録しています。

# 現在の経済状況：アルゼンチン

アルゼンチンは過去10年間の4分の1以上の期間で、10%未満のスコアを記録している。

**Q** 現在の自国の経済状況をどう評価しますか？  
（「非常に良い」「ある程度良い」の割合）



ベース：アルゼンチンの16～74歳成人約500人の代表サンプル。2013～2023年に調査。

出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、グローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

25 © Ipsos | 世界が懸念していること

Filter: Country: World | Current Wave: Nov 23



# 現在の経済状況：ブラジル

ブラジルの経済スコアは先月から7ポイント下がっている。

**Q** 現在の自国の経済状況をどう評価しますか？  
（「非常に良い」「ある程度良い」の割合）



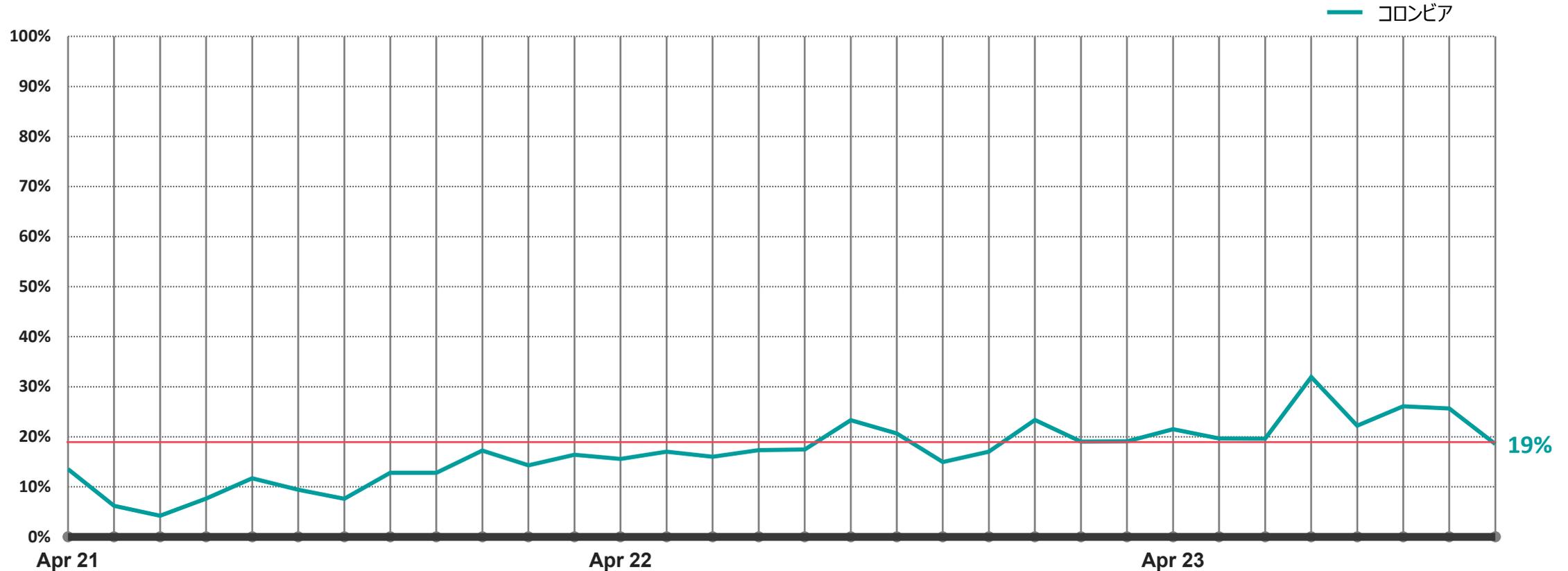
ベース：ブラジルの16～74歳成人約1000人の代表サンプル。2013～2023年に調査。

出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、グローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

# 現在の経済状況：コロンビア

コロンビアの経済スコアは先月から7ポイント低下している。

**Q** 現在の自国の経済状況をどう評価しますか？  
（「非常に良い」「ある程度良い」の割合）



ベース：コロンビアの16～74歳成人約1000人の代表サンプル。2013～2023年に調査。

出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、グローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

27 © Ipsos | 世界が懸念していること

Filter: Country: World | Current Wave: Nov 23



# 現在の経済状況：イスラエル

今月、イスラエルは前月比で最も経済に対する肯定的な認識が高まった国（+7）となっている。

**Q** 現在の自国の経済状況をどう評価しますか？  
（「非常に良い」「ある程度良い」の割合）



ベース：イスラエルの16～74歳成人約500人の代表サンプル。2013～2023年に調査。

出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、グローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

28 © Ipsos | 世界が懸念していること

Filter: Country: World | Current Wave: Nov 23



# 現在の経済状況：マレーシア

マレーシアのスコアは特に変動が激しく、前月比の変動幅の半分以上が5ポイントを超えている。

**Q** 現在の自国の経済状況をどう評価しますか？  
（「非常に良い」「ある程度良い」の割合）



ベース：マレーシアの16～74歳成人約500人の代表サンプル。2013～2023年に調査。

出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、グローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

メキシコは今月、過去最高のスコアを記録している。

# 現在の経済状況：メキシコ

**Q** 現在の自国の経済状況をどう評価しますか？  
（「非常に良い」「ある程度良い」の割合）



ベース：メキシコの16～74歳成人約500人の代表サンプル。2013～2023年に調査。

出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、グローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

30 © Ipsos | 世界が懸念していること

Filter: Country: World | Current Wave: Nov 23



# 現在の経済状況：スペイン

スペインのスコアは先月から7ポイント低下している。

**Q** 現在の自国の経済状況をどう評価しますか？  
（「非常に良い」「ある程度良い」の割合）



ベース：スペインの16～74歳成人約1000人の代表サンプル。2013～2023年に調査。

出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、グローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

31 © Ipsos | 世界が懸念していること

Filter: Country: World | Current Wave: Nov 23

# 現在の経済状況：スウェーデン

今月もスウェーデンは過去最低の経済スコアを記録し、記録更新は今年5回目である。

**Q** 現在の自国の経済状況をどう評価しますか？  
（「非常に良い」「ある程度良い」の割合）



ベース：スウェーデンの16～74歳の成人約500人の代表サンプル。2013～2023年に調査。

出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、グローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

32 © Ipsos | 世界が懸念していること

Filter: Country: World | Current Wave: Nov 23



# 調査手法

この29カ国のグローバルアドバイザー調査は、2023年10月20日から2023年11月3日にかけて、カナダ、イスラエル、マレーシア、南アフリカ、トルコ、米国の18～74歳、インドネシアとタイの20～74歳、シンガポールの21～74歳、その他の国の16～74歳の成人20,570人を対象に、イプソスのオンライン調査プラットフォームで実施された。

「世界各国平均」は、調査を実施したすべての国の平均値である。各国の人口規模に合わせて調整されておらず、総合的な結果を示すものではない。

サンプルは、オーストラリア、ベルギー、ブラジル、カナダ、フランス、ドイツ、英国、イタリア、イスラエル、日本、メキシコ、スペイン、スウェーデン、米国の各1000人以上、アルゼンチン、チリ、コロンビア、ハンガリー、インド、インドネシア、マレーシア、オランダ、ペルー、ポーランド、シンガポール、南アフリカ、韓国、タイ、トルコの各500人以上からなる。

アルゼンチン、オーストラリア、ベルギー、カナダ、フランス、ドイツ、英国、ハンガリー、イタリア、日本、オランダ、ポーランド、韓国、スペイン、スウェーデン、米国のサンプルは、その国の75歳未満の一般人口を代表しているとみなすことができる。

ブラジル、チリ、コロンビア、インド、インドネシア、マレーシア、メキシコ、ペルー、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのサンプルは、一般人口に比べて、より都市部に住み、教育水準が高く、裕福である。これらの市場の調査結果は、人口のうち、より「コネクテッド」な層の意見を反映していると言えるだろう。

人口統計のバランスをとり、サンプル構成が最新の国勢調査データを反映した成人人口の構成比になるよう、ウェイト付けが行われている。

イプソスのオンライン調査の精度は、1,000人の世論調査は±3.5パーセントポイント、500人の世論調査の場合は±5.0パーセントポイントの信頼区間を用いて計算されている。イプソスの信頼区間の使用に関する詳細は、イプソスのウェブサイト参照のこと。

パーセンテージの合計が100にならない場合、または「差」が実際より+/-1多いまたは少なく見える場合は、四捨五入、複数回答、「わからない」または未回答の除外による可能性がある。

本調査結果の公表は、現地の規則に従う。